

2021年3月31日

ジェイアール東日本企画は、トレジャーデータと協業し クライアントのデータ活用を推進する体制を構築します

— マスターパートナーとして、Treasure Data CDP の導入・利用を支援 —

株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：原口 宰、以下「jeki」）は、トレジャーデータ株式会社（本社：東京都千代田区、社長執行役員：三浦 喬、以下「トレジャーデータ」）と新たなパートナーシップ契約を締結しました。今後はカスタマーデータプラットフォーム「Treasure Data CDP」の導入・利用の支援を通じて、クライアントのデータ活用を推進していきます。



現在、デジタルイノベーションの進展などにより、生活者データ、メディアデータなど膨大なデータを分析し、最適なコミュニケーション施策を構築することが強く求められております。こうした状況の中で jeki は、データマーケティングやデジタルコミュニケーションの分野で、様々なプレイヤーとともに先進的な取り組みを切り開いております。

その取り組みの一環として今回、jeki は、トレジャーデータとのパートナーシップ契約を締結しました。

トレジャーデータは、2011年に設立された、カスタマーデータプラットフォーム（CDP）分野のリーディングカンパニーであり、顧客理解や顧客体験の最適化をサポートするデータ基盤「Treasure Data CDP」を提供しています。

この協業により、jeki とトレジャーデータは共同で、クライアントのデータ活用やマーケティング施策支援に取り組んでいきます。

このパートナーシップ契約の締結に加えて、jeki はトレジャーデータが提供する公式パートナープログラム「Treasure Data Partner Certification Program（※1）」のマスターパートナープログラムにおいて、認定パートナーとなりました。

jeki は、マスターパートナーとして、JR 東日本グループ各社をはじめ、様々なクライアントに対して、クライアント企業が保有するデータなどをベースに、テレビや交通広告、デジタルなど様々なメディアを連携した、最適なメディアプランニングやコミュニケーション施策の実行に取り組むと共に、クリエイティブやコンテンツ、リアルイベントとの連動施策や、メディアの効果可視化などに積極的に取り組んでいきます。

今後も jeki は、JR 東日本グループの一員としての強みと、独自に大手広告代理店として培ってきたソリューションやデータなどを広範に活用しながら、様々なクライアントのコミュニケーション課題において、最適なソリューションを提供していきます。

※1 Treasure Data Partner Certification Program

Treasure Data Partner Certification Program には、「マスターパートナープログラム」と「テクノロジーパートナープログラム」の2つのカテゴリーがあります。「マスターパートナープログラム」は、Treasure Data CDP を活用したシステムの提案や導入支援、コンサルティング、技術サポートなどを行うパートナー企業を対象としています。「テクノロジーパートナープログラム」は、自社製品・サービスと Treasure Data CDP を組み合わせたソリューションを提供するパートナー企業を対象に、システム連携のためのコネクタの開発支援を行うプログラムです。

<トレジャーデータについて>

2011 年に設立されたトレジャーデータは、市場の草創期より CDP を提供しています。トレジャーデータが提供する「Treasure Data CDP」はデジタルトランスフォーメーションの基盤であり、企業のデジタルトランスフォーメーションに必要な顧客理解、顧客体験の最適化をサポートします。企業は既存の仕組みと「Treasure Data CDP」を連動させて、様々なデータを柔軟に収集、大規模かつセキュアに統合・分析することができます。2012 年 11月、事業開発および技術開発の拠点として、東京に日本法人であるトレジャーデータ株式会社を設立、日本市場での本格的な事業展開を開始し、現在では、日本を起点にアジア太平洋地域へとビジネス領域を拡大・展開しています。その他、カナダ、韓国、インド、イギリス、フランス、ドイツに拠点を置いています。「Treasure Data CDP」は、急成長中の CDP 分野でリーダーの地位を確立しています。フォーチュン 500 やグローバル 2000 のエンタープライズ企業をはじめ、400 社以上の顧客企業を有します。